

（端裏書）

「大谷九右衛門殿 牛尾金右衛門」

頃日^者江府^{ニ而}

殿様^江御目見之

年号月日御参觀

御交代之節被

仰付候次第書付之趣

令承知候、將又

興禪院様御代以来

其方先祖又^者村川

市兵衛大谷藤兵衛

宮本助右衛門惣^而年寄役

相勤申候者共之内

於御当地

御目見被仰付候

旧例共有之候哉、左様

之儀^茂候ハ、年号

月日等^{ニ而}も具^ニ書付

一兩日之内持参可有之候

此旨為可申入如此候

以上

八月朔日